

平成29年5月11日

No. 17 - 133

株式会社 伊予銀行

オープンAPI対応の共通基盤構築プロジェクトを開始！

～ T S U B A S A 金融システム高度化アライアンス加盟行などと共に～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、「T S U B A S A 金融システム高度化アライアンス」加盟行およびT & I イノベーションセンター株式会社様（取締役会長 森本 昌雄様）、日本アイ・ビー・エム株式会社様（取締役社長 エリー・キーナン様）と共同で、オープンAPI（Application Programming Interface）への対応に向けた検討プロジェクトを開始いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

オープンAPIとは、システムへの接続仕様（API）を外部事業者へ公開することで、銀行が提供する機能を外部のアプリケーションから利用できるようになり、お客さまにより高度で安全な金融サービスをご利用いただけるようになることが期待されているものです。

本プロジェクトでは、オープンAPIに対応した「T S U B A S A F i n t e c h 共通基盤」（以下「共通基盤」）を構築し、フィンテック企業等の外部事業者の皆さまが、同一仕様のAPIで「共通基盤」の採用行と接続できるようになることで、フィンテックの知見を生かした先進的な金融サービスの提供を推進してまいります。

なお、この「共通基盤」は、T S U B A S A アライアンス加盟行のみならず、幅広く金融機関にご利用いただけるプラットフォームを目指してまいります。

記

○プロジェクト概要

項 目	内 容
開 始 日	平成29年5月11日
参加企業	T S U B A S A 金融システム高度化アライアンス（ 1 ）加盟行、T & I イノベーションセンター株式会社（ 2 ）、日本アイ・ビー・エム株式会社

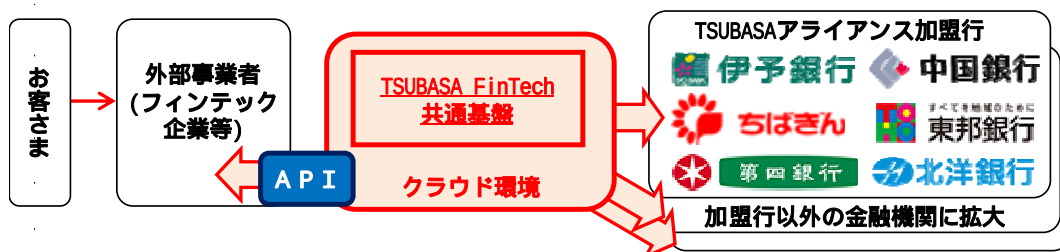
（ 1 ）T S U B A S A 金融システム高度化アライアンス

フィンテックをはじめ先進的なIT技術を調査・研究するために発足した枠組みで、当行、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、東邦銀行、北洋銀行の6行が加盟しています。

（ 2 ）T & I イノベーションセンター株式会社

フィンテックに関する共同調査・研究・サービス開発等を目的に、T S U B A S A 金融システム高度化アライアンス加盟行および日本アイ・ビー・エム株式会社が共同出資して設立した会社。

スキーム図



以 上